

キティちゃんと司馬遼太郎

平成 26 年 7 月

沼尾 利郎

1 人気の秘密

「ゆるキャラ」がブームとなり、日本各地にご当地キャラが増えていますが、日本オリジナルのキャラクターとして世界トップクラスの人気と知名度を誇るのは、何と言っても「キティちゃん」（正しくはハローキティ）です。関連グッズの数は 5 万種類に上り、70 ヶ国以上の国で売られているキティちゃんは、今や「カワイイ日本」を代表するキャラクターと言えます。子供だけでなく大人までも惹きつける、その人気の秘密はどこにあるのでしょうか？ 丸みを帯びたシンプルなデザインは柔らかさと親しみを感じさせ、一方では「口がない」ことで表情が限定されにくく、見ている人の気持ち次第で笑っているようにも寂しげにも見えます。「見る人と気持ちを分かち合う」という発想は、派手な表情で動きのあるディズニーやアニメキャラとは異なり、誰にとっても感情移入しやすく「無表情」の勝利と言えるでしょう。そんな「邪魔しない静かさ」と、いつまでも「女の子」でありたいという女性心理（キティが好きな私ってカワイイ！）ゆえに、大人からも人気を得ているようです。「単純に可愛いから」と思っていた私ですが、キティちゃんが大人の女性にウケるにはちゃんと理由があるんですね。

2 キティちゃんの病院訪問

そんな人気者のキティちゃんが、私の勤務する NHO 宇都宮病院に先日来てくれました（写真 1）。それはフコク生命が社会貢献活動の一環として、サンリオと提携する形でキティちゃんが全国の病院を訪問するというものです。当院では院内保育所と重症心身障害病棟を訪問したのですが、どちらでも子供たちやスタッフから大歓迎を受けました。子供たちや患者さんとの撮影会では、ご家族やスタッフも入れて 1 人ずつポーズを変えながら丁寧に記念撮影をしてくれ、子供たちは初めて見るキティに笑ったり驚いたり興奮したりで、とても楽しい時間を過ごすことができました。誰もが自然に笑顔になるのを見ていると、こちらまで幸せな優しい気持ちになります。人気キャラクターの持つパワーというのは、本当にすごいですね。今回の「キティちゃんの病院訪問」はフコク生命の特別なご配慮で実現したのですが、「人気の高いキャラクターが来てくれた」と以上に、「元気と笑顔を届けたい」という同社スタッフの熱意が何よりすばらしく、関係者の皆様には心から感謝と敬意を表します。



写真 1

3 司馬遼太郎記念館

「人気が高い」といえば、中高年の男性やビジネスマンに人気のある司馬遼太郎の記念館を最近訪れました。私は彼の熱心な読者というわけではなく、読んだ本も数えるほどですが、歴史の見方・捉え方や組織マネジメントなどにおいて以前から気になる作家でした。記念館で圧倒されたのは、高さ 11 メートルに及ぶ壁面いっぱいの書棚と 2 万冊以上の蔵書であり、司馬が残した多彩な作品群が確かな歴史検証に基づいたものであることが良く理解できました（写真 2）。彼の小説の魅力は、乱世の男たちを描いて時代と人間像に 1 つの典型を示したところにありますが、一方では明快なテーマに沿った史実だけを選ぶストーリー展開に対して、「嘘は書かない代わりに本当の事も書かない」という批判があります。事実、作品上の坂本竜馬や土方歳三は史実を少し曲げたところがあり、「司馬遼太郎はその曲げ方がうまい」ということなのでしょう。嘘を書くから小説なのであり、歴史と歴史小説が違うのは当たり前ですが、彼が残した膨大な文献や貴重な資料の山を目にすると、何をどう書いても許せる気持ちになります。圧倒的な創造空間の中で、私はただ感嘆するばかりでした。

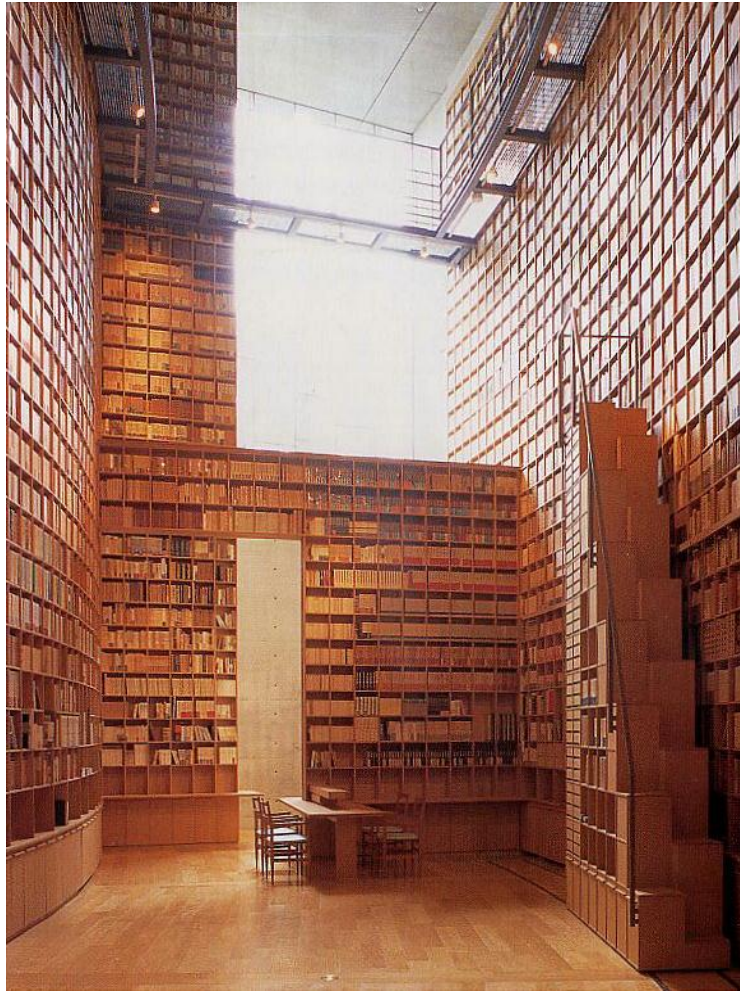


写真 2

4 猫と作家の共通点

キティちゃんと司馬遼太郎に共通するのは、ともに熱心なファンがいることと時代共に変わり続けたことです。キティちゃんは日本各地の観光地で地域限定の「ご当地キティ」が数多く商品化されており、本来のイメージを大切にしながらコラボ先のセンスを生かし、キャラの固定化を防ぎつつ時代に合わせて様々なデザインにチャレンジし続けています。一方、司馬遼太郎は新聞記者として勤務しながら小説を書き始め、作家に専念してからは「テーマ小説」というスタイルを確立して文体も変えました。歴史上の人物や時代の空気を生き生きと描写し、現代社会のリーダーシップやマネジメントにも通じる比較文明論として論じるところに、司馬作品の人気の秘密があるようです。

「志ほど、溶けやすく壊れやすいものはない」 (司馬遼太郎)

医療を取り巻く環境が大きく変わりつつある現代は、あたかも明治維新のような大変革期なのかもしれません。不確実性の時代においては、何が「正解」なのか判断に

迷うことの連続ですが、キティちゃんのようにしなやかな変身を続けながら、手の届かない遥かな理想と知りつつも「坂の上の雲」を目指し、「壊れやすい志」を補強しながら（笑）、少しでも地域医療に貢献したいと思います。

(C)1976. 2014 SANRIO.CO.LTD.APPROVAL No.G550876